

隣の女 (1981)

LA FEMME D'A COTE
THE WOMAN NEXT DOOR

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンس

製作国 フランス

時間 106分

初公開日 1982/12

公開情報 東映ユニバース

【解説】

脚本を、スクリプター・助監督としてずっとトリュフォー作品を支えてきたシュザンヌ・シフマンがジャン・オーレルと共同で手がけた、狂おしい愛の物語。同年、シフマンはトリュフォーの「終電車」の脚本も担当しているが、女性の確固たる視点から同性の情念が冷静に見つめられており感心した。「終電車」のカトリーヌ・ドヌーヴの秘めたる不倫愛も素敵だったが、本作の、トリュフォー最後の恋人＝F・アルダンの開き直り不倫は怖いくらい激しく、これもまた、不純にも惹かれてしまう。物語はナイーヴそのもの。偶然、隣り合わせで住むことになった、今はそれぞれの家庭があるかつての恋人どうしが、再び恋の炎を燃やし、近所のテニス・コートでプレイをするのを口実に密会を重ねるが、男は次第に臆病になり、逆に女は臨界点を超えてゆく……というあんばい。しかし、トリュフォーでなければ、これまでの説得力は持たないだろうという出来映えです。

【クレジット】

監督	フランソワ・トリュフォー	Francois Truffaut	
製作	フランソワ・トリュフォー シュザンヌ・シフマン	Francois Truffaut Suzanne Schiffman	
脚本	フランソワ・トリュフォー シュザンヌ・シフマン ジャン・オーレル	Francois Truffaut Suzanne Schiffman Jean Aurel	
撮影	ウィリアム・ルプシャンスキー	William Lubtchansky	
編集	マルティーヌ・バラケ	Martine Barraqué	
音楽	ジョルジュ・ドルリュ	Georges Delerue	
出演	ジェラルド・ドパルデュ	Gerard Depardieu	ベルナール・クードレー
	ファニー・アルダン	Fanny Ardant	マチルド・ボーシャール
	アンリ・ガルサン	Henri Garcin	フィリップ・ボーシャール
	ミシェル・ボームガルトネル	Michèle Baumgartner	アルレット・クードレー
	オリヴィエ・ベッカー	Olivier Becquaert	トマ・クードレー
	ヴェロニク・シルヴェール	Veronique Silver	オディル・ジェーヴ夫人
	ロジェ・ファン・ホール	Roger Van Hool	ロラン・デュゲ